

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2020年 8月 25日(火)19:30～

会場：添島歯科クリニック研修室

- 一般講演抄録 2-

添島歯科クリニックでの学び ～診査・診断について～

脇勇士郎 添島歯科クリニック 〒862-0952 熊本市東区京塚本町 7-7

■抄録

日々の臨床において、自分の行った処置を振り返り、適切な処置だったかを再評価することはとても重要なことである。

しかし、規格化されたスライドやX線写真、初診時のスタディモデルがなければきちんとした再評価を行うことはできない。

今回は、前半に口腔内、全身、画像診断の規格性についての留意点や添島歯科クリニックに勤務して学んだ事をまとめ、後半にケースプレゼンテーションを通してスタディモデルでの診断、処置ごとの記録と確認の重要性について発表する。

ケースプレゼンテーションは83歳の男性で保存不可能歯が多数ある患者だが、将来の事を考えて抜歯部位を決定し、義歯を作製したケースである。

スライド内容から発表の態度まで、諸先生方のご意見、ご指導、ご批判を受け賜りたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。